

今、福島で何が起きているのか？

玄海原発は大丈夫か？

福島 の真実、玄海 の虚構。

福島3号で明らかになった、プルサーマルと老朽化した原子炉の危険性。玄海原発でも同じ問題を抱えている。九電は、場当たりの地震と津波対策しか行っていない。

被災地で強いられる避難生活と、見えない放射能への不安。故郷を追われる人々。汚染地区で育つ子供達。原子力の恐ろしさを「再び」目の当たりにした私たちがいま、できることはなにか。一緒に考えてみませんか。



広瀬 隆

1943年東京生まれ。早稲田大学卒業後、大手メーカーの技術者として勤務。その後、医学書、技術書の翻訳者を経て執筆活動に入る。多数の著書中「東京に原発を！」(JICC 出版社)、「危険な話」(八月書館)、「棺の列島」(光文社)、「原子炉時限爆弾～大地震におびえる日本列島」(ダイヤモンド社)などで原発の危険性を訴え、市民への呼びかけを続けてきた。

九州はのんびりしすぎてはいないか。
津波の日本記録は石垣島の80m。
何が起きてもおかしくない。

【どなたでもご参加いただけます】

6月5日(日)

佐賀教育会館

(佐賀市高木瀬町東高木 227-1)

資料代 500円

- 第一部■ 12時30分～13時20分
玄海原発プルサーマル裁判の会 報告会
- 第二部■ 13時30分～16時
広瀬隆 講演会

■広瀬隆 佐賀講演会実行委員会

■玄海原発プルサーマル裁判の会

お問合せ 090-3325-0651(於保)

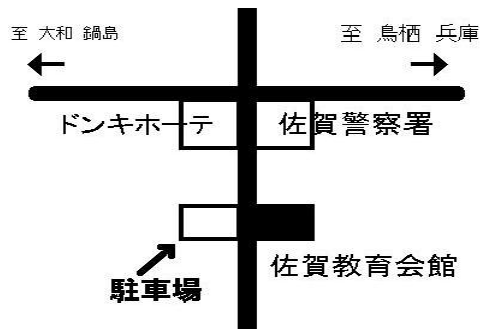
活動の最新情報はコチラ。
<http://genkai.ptu.jp/>
携帯電話からもチェック!



コチラもブックマークを。

●原子力資料情報室

<http://www.cnlic.jp/>



駐車可能台数が少ないため、お知り合い等で乗り合わせてご来場下さい。

すべての原発を停止しても、電力は不足しません。